

日本現代中国学会関東部会理事会・定例研究会のご案内

会員各位：

今回の現代中国学会関東部会定例研究会は、近年の文学・芸術における享受者と作品の関係をめぐる文化的変容の問題について、アニメの話題作「君の名は。」の東アジアを中心とする各地域での受容の現象を通して考察することをテーマとしました。早稲田大学文学学術院総合人文科学研究センター・早稲田大学中国現代文化研究所との共催により、次ページ以降の要領にて行います。中国・台湾・カナダ・フランスからこの現象をつぶさに観察された専門家をお招きし、御報告をお願いしました。今、最も気になる文化状況についての、さまざまな角度からの分析と議論が期待されます。皆様どうぞ奮って御参加下さい。

※なお当日は、関東部会理事会を 11:00 から下記会場にて開催いたします。理事の方々にはご出席を宜しくお願い申し上げます。

記

関東部会理事会

日時：2018年1月20日(土)午前11時～

場所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館4階第4会議室

定例研究会

日時：2018年1月20日(土)午後1時～

場所：早稲田大学戸山キャンパス 33号館6階、第11会議室

※地図：http://www.jata-net.or.jp/seminar/exam/pdf/map_tokyowaseda02.pdf

関東部会事務局：中村元哉(津田塾大学) 阿古智子(東京大学) 大西広(慶応義塾大学) 倉田徹(立教大学) 佐藤普美子(駒澤大学) 〈幹事〉家永真幸(医科歯科大学) 小野泰教(学習院大学) 澤田ゆかり(東京外国語大学) 中村みどり(神奈川大学)

日本現代中国学会関東部会定例研究会

国際シンポジウム “東アジアと世界の「君の名は。」”

2016年に日本で最も影響力のあった映画はアニメだった。「この世界の片隅に」がキネマ旬報ベストテン第1位に輝き、「君の名は。」は映画興行収入第1位、いずれも若者だけでなく中高年を含めた視聴者に広く支持された。特に「君の名は。」のブームは日本国内に止まらず、中国や台湾でも大きな反響を呼び、広範な視聴者の人気を呼んだ。

しかし、アメリカやヨーロッパで「君の名は。」が話題になることはなかった。また、観客の反応も東アジアとずいぶん異なっていた。友人によれば、あまりにロマンティックなのだという。

周知のように、1990年代以降、日本のマンガ・アニメ・ゲーム・ライトノベルなどがアジアの若者に広く受け入れられ、サブカルチャーを中心に東アジア諸都市の若者文化には共通した現象がみられるようになっている。

ストーリーや内容からキャラクターへという、テキストの享受の仕方の変化がその一つだ。ニューメディアの登場によって、作品を、どのように分割することも組み合わせることも可能な、モジュールの複合体として捉え、データベース化することができるようになったことが、それを支えている。

また、インターネットやIT技術の発達によって、多くの愛好者が創作に参加するようになり、制作者と享受者の区別がなくなりつつある。こうした現象とともに、読者・視聴者が作品に求めるものも、人間や社会の真実に触れることから仲間とのコミュニケーションへと変化した。言い換えれば、読者・視聴者と作品の関係が変化したのである。しかも、こうした現象は、東アジアのみならず、世界的に共通してみられるものになっている。それは近代文化の誕生以来の、文学・芸術をめぐる大きな文化的変容とって過言ではない。

だが、「君の名は。」の受容に見られるアジアと欧米の差は、こうした文化変容がそれほど単純なプロセスではないことを物語っている。世界各地で起こっている文化変容は、果たしてどのような姿をしているのだろうか。

そうした疑問に切り込むため、中国・台湾・カナダ・フランスでの反応をつぶさに見てきた方々を招き、それぞれの地域において「君の名は。」がどのように受容されたのか、その共通点と差異を糸口に、今日の文化変容について縦横に語り合っていただくことにした。

それが東アジアならびに世界的に進む文化変容の内実を、少しでもより鮮明に浮かび上がらせることに繋がれば、これに勝る喜びはない。

プログラム

日時：2018年1月20日(土) 13:00-18:35

場所：早稲田大学戸山キャンパス 33号館6階、第11会議室

13:00-13:30 開会の辞、趣旨説明（早稲田大学・千野拓政）

13:30-14:30 周志強（中国・南開大学） ※通訳を含む

《从故事中拯救历史—“你的名字。”之“事件”寓言》

「物語から歴史を救う—『君の名は。』における“事件”のアレゴリー」

14:30-15:30 陳国偉（台湾・中興大学） ※通訳を含む

災難共同體的記憶與忘卻：《你的名字》在台灣

「災害共同体の記憶と忘却：台湾における『君の名は。』」

15:30-15:45 ティーブレイク

15:45-16:15 ワダ・マルシアーノ（カナダ・カールトン大学）

「北アメリカにおける『君の名は。』受容状況」

16:15-16:45 藤本一勇（早稲田大学）

「二つの「世界／セカイ」の狭間—『君の名は。』と『この世界の片隅に』」

16:45-17:00 ティーブレイク

17:00-18:30 パネルディスカッション（司会：千野拓政）

18:30-18:35 閉会の辞(千野拓政)

◎使用言語；日本語（通訳有り）

◎参加無料

主催

私立大学戦略的研究基盤形成事業・第二グループ

「ポストコロニアル時代の人文学、その再構築—21世紀の展開に向けて」

日本現代中国学会関東部会

共催

早稲田大学文学学術院総合人文科学研究センター

研究部門「東アジアの人文知」

早稲田大学中国現代文化研究所